

濠洲大罷業企畫

獨逸戰後計畫

旺盛にて久力ありこの事な  
燃付萬だ悪く殊に朝鮮の如  
然力旺盛の無間及下地長

とられ、舊曆四、九日の市日は出  
廻りの頻繁にして、當日龍井村方面  
より買取りに來るもの多し而し

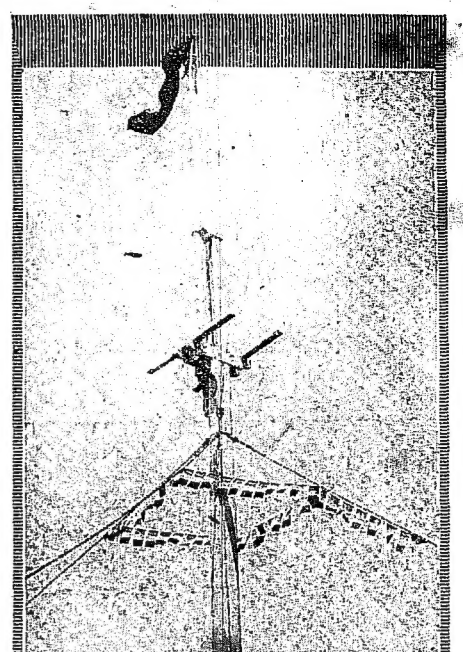
氣に眺るお屏の簾こそ問援  
獨逸の君主は勃然とし  
勢力却て侮る可らざる如し

A circular logo featuring the word 'PERFE' in a serif font, with a five-pointed star positioned below it. The logo is partially cut off on the right side.

各藥店



朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官



共和記念日を迎へて 歡溢る、佛領事館 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

飛行練習 幸す待ち 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

三色旗で、美しき飾り 共和記念日の祝賀 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

陸軍飛行機 模倣戦 共和記念日の祝賀 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

空中に飛行 共和記念日の祝賀 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

中流民の窮状 支那の窮民の窮状 共和記念日の祝賀 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

麻疹から急 性中耳炎 共和記念日の祝賀 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官



地方の鮮民は斯くまで 憲兵を信頼してゐる 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

敵前動作 二日間演習 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

月下露を踏む 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

金剛山見物記 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

控訴す 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

女学校寄宿舎 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

熱狂相場を現出 八月限四十圓に達す 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

三千餘名の米屋が 總立で値上を叫ぶ 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

福州虎疫猖獗 死者二百名に達す 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

蛇娘が来た 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

子供相撲 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

金剛山見物記 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

控訴す 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

鐵道十條開 非常な賑ひ 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

子供相撲 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

金剛山見物記 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

控訴す 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

女学校寄宿舎 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

麻疹から急 性中耳炎 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

女学校寄宿舎 朝鮮領事館の共和記念祝賀 中央ガロア領事、其の左に朝鮮領事館長官

月やくあき人 月やくとまり不順のため 月やくあき人 月やくとまり不順のため

鮮満萬年筆の権威 萬年筆の名は 鮮満萬年筆の権威

仁川米豆取引所 仁川米豆取引所

山邑左衛門製造 山邑左衛門製造

宗正ラクス 宗正ラクス

櫻正宗櫻魂發賣元 櫻正宗櫻魂發賣元

雲一時隔 雲一時隔



# 滿洲移住の鮮農

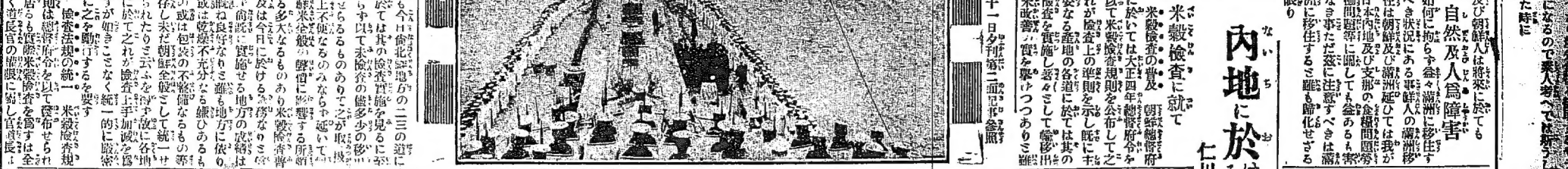
## 西北鮮のみなならず南鮮より

滿洲移住の目的  
自然及人為的障害

我が國民として  
自然及人為的障害

### 暗雲漲る

高師長の做話



### 内地に於ける朝鮮米

仁川商業會議所調査

### 朝鮮の謎

天象門 畫夜

### 商 況

品名	単位	前日比	当日
東京現米	100kg	▲0.10	100.10
大阪現米	100kg	▲0.10	100.10
東京現米	100kg	▲0.10	100.10
大阪現米	100kg	▲0.10	100.10

### 米 況

品名	単位	前日比	当日
東京米	100kg	▲0.10	100.10
大阪米	100kg	▲0.10	100.10
東京米	100kg	▲0.10	100.10
大阪米	100kg	▲0.10	100.10

### 仁川米市

仁川米市は、前日より高値で推移中。米穀商の買い入れが活発化している。

### 大阪米市

大阪米市は、前日より高値で推移中。米穀商の買い入れが活発化している。

### 東京米市

東京米市は、前日より高値で推移中。米穀商の買い入れが活発化している。

### 大豆市況

大豆市況は、前日より高値で推移中。米穀商の買い入れが活発化している。

### 千鳥の唄

大正三十四年七月十五日

#### 演藝案内

大正三十四年七月十五日

#### 千鳥の唄

大正三十四年七月十五日

#### 大正三十四年七月十五日

大正三十四年七月十五日



東京 田邊南龍講演

(三) 御書便覽

第 四 千 二 百 三 十 六 號

に駭いて居る。甲、詰り御師好い。が罵つて居らつしやるで、妹加減にして居る。ヘン、正室先生が日本の宗匠に極つたのは何故か。ある、辱せさせて来て弟子を、聞いて来れる、好い如く、女こそはさきからあがるな、手前こそ弟子になて来い、ハ、ハ、ハ、發光もまけりに置返り、一惡口吐き足して是れなり、任せて街を直ぐ八丁へ移して、やに相州鎌倉の町入道に来てした、松並木の外れに寺があつた、松とそれへ懸下し、象婆ア、茶で熱水を、濯んぬる大きいのでも呉んな、明眼が望んで仕方が無いから、お聖様様……象婆ア、今日ば好い、お大層な……象婆ア、今度、これぞ、五郎正宗云ふ居士は、素直に、愛、ハ、ハ、是れから草かと思ふ、立派な方が出た、其の家に、それば、御師、それで人様に至つて叩頭でございます、それば、御師、先程から言葉をかきて居る、分らない、愛、もう直に分ります、下世の中には自分計り察つて

二人の實驗で幾千の人助け  
ロクマク。肺病  
二錢五厘でタダアゲル全治實驗

多くく及ぶ肺病にて百病効なく  
 迷つたり困つたりて居る人が  
 一間に醫分多かるを注目に  
 する一事は安原氏の金治實  
 驗法此のついで  
 肺病を  
 断かる人皆  
 中絶か  
 地へ墮ちし  
 たり又病氣さへ  
 快して元身の  
 健になれる事  
 らも思つて高  
 樂である此  
 染いが如く  
 時氏は是れは  
 ならないと自ら勇氣を奮勵し  
 振法を醫法の達だめし手段  
 法にて實驗したる所を  
 大奇効に命し目に見えず  
 快方になり意外の短所日  
 中身の苦しみも全治の効し  
 甚身につまされて同病者  
 思ふ獨り診驗法及び全治  
 探法金治實  
 證上由な  
 今日  
 の全治實  
 驗法に依  
 るく  
 肺病の助  
 人救知れ  
 ず  
 病狀を  
 数千人に  
 上  
 居る實況  
 方人のハガキで東京  
 二番地  
 澤田氏  
 直ちに問合  
 此の一大  
 証を  
 出来る



此の図は、江戸時代風の舟に、数人の人物が描かれています。舟の中央には、一人の人物が横たわり、もう一人の人物がその手を握り、看病している様子です。舟の奥には、もう一人の人物が立っており、舟の前方には、一人の人物が漕ぎ手として座っています。舟は波立つる水面を進んでおり、背景には遠くまで伸びる水平線と、遠くに見える山や島が描かれています。舟の周囲には、水しぶきや波の表現が施されています。

男でも女でも

[illegible]

小豆衣草

[illegible]

全篇彩色、るささう優麗な當時の情緒を最も大膽に最も露骨に描

東京芝南佐久間町一の三（電  
新橋三一六〇） 上山瀧雄

出しく江戸人情本の白眉原本は  
おれん、経験済で容易に手に入れ  
難い。珍書は、はながたの内容は讀  
で始めてツクリ書に給ふべし

五巻十六、四六装、乾大和製、共  
箱比翼、表紙、裏に密附、摺、共  
金、一圓六、二錢切替小代用は一圓四  
十五錢、二錢切替小代一圓八、十  
錢

發賣起るの貨先着申込百名を販  
歌、摩工、版、刷、彩色、美人、振替、高京  
トモエ、文庫、四、二、九、一

東京市神田區表裏、一、二、九、一

人は一、寸先の事、知れぬ若し  
が、判つた、如何に、苦痛であら  
か、本社の、運轉、判定、は、宛ら、  
眼、を、術、の、如、く、人、代、の、吉、  
手、に、取、る、機、に、看、破、る、貨、が、出、  
る、本、社、は、此、際、希、有、の、機、を、  
に、登、り、購、読、者、を、網、羅、し、  
的、に、致、務、す、卒、業、者、は、直、に、判

運勢半

直に月收多

日本、の、力、を、要、ら、ぬ

治  
病  
範  
疇

# 新・サピ

定價三拾八圓・東京麴町樂町一丁目・三本木才力シキ一合會  
(電話) 本局二三八六(七二)

美顏洗粉

桃谷研究試驗所創製

光榮ある御化粧料二十六種の内

女學校へお  
出での方は  
どなたも御  
存じ



▲牛乳や鶏卵は何故美しくなるのに、  
いのでせうか？それは牛乳や鶏卵には  
純良な蛋白質と中性脂肪を含んでゐ  
るからです。此事は女學校へお出での  
令嬢方は、ごなたも御存知の事でい  
ます。美顔洗粉は種々の原料を、一々嚴  
密に檢べて品質の良い原料を用ひてあ  
る上、殊にこの純良な蛋白質と中性脂  
肪とを丁度適度を含むやうに數種の特  
殊原料を加減して用ひてありますから  
牛乳や鶏卵を使ふのと變らない効果が  
ある事に成りますのです。この點はこ  
の洗粉の特長であります。

御内書により謹製したる洗粉  
 正四年五月御成。或る御使より御使から、佛蘭西製  
 の此の洗粉をクリームミの御本を盛へられ、これに  
 方々御優秀なる品質の二品を各御試験所より於て  
 御製本進せよとの御筆書御内意が傳へられました。  
 御試験所にては此上なき先発に感激し、技師一同働  
 くまでも深中に秘密に研究を積み同七月下旬御試  
 験所品を上納致しました。此の二品も品質の極めて  
 優秀なる事をお認めさせられ、御本常に御命を拜して  
 賜ました此品中の洗粉を、先づ来度く世に御奉  
 する事にしましたが此の洗粉粉であります。斯  
 い一品です。から一度美顔粉を御用ひになりました  
 方は、必ず此洗粉に御使を御使され、御使を  
 御用せられますので、此の洗粉は今大變な人々にな  
 って居ります。

桃谷順天館

松葉所 東京市日本清區本町四丁目(電話本局二三〇。一六二六。一六二七)  
 實験所 東京市麹町區有樂町一丁目(電話新橋一六三。二六三九。三六一四)  
 營業所 大坂市西區南邊二丁目(電話土佐堀六四七。六四八。南三一。二八寄)

[illegible]







獨逸政界動搖  
はれ不幸の聲が聞に満ち

スクの諸地方に對し實業及び交通の發達を期すも然らざる限り九年

所である又

されざるに於ては現に派三千圓處を稱へたり官帖相場も亦

五十三歳に盛返し強硬に界の趨勢を辿りては昨年の現  
は五十の買客に七十に於ける如き社會問題に就て

中七千三百石  
先十一萬一千九百石  
十四日後  
寄附、  
三六

寄付  
高直  
三七九〇

[illegible]







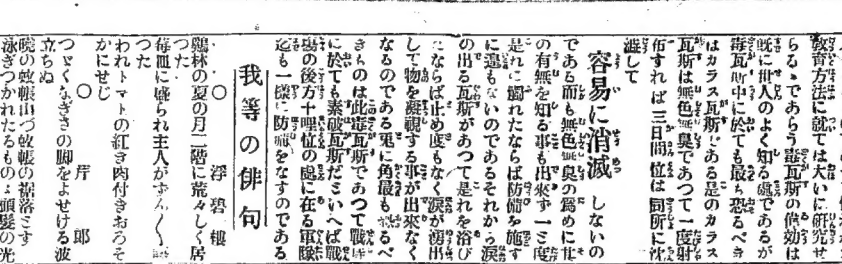
森島  
田山  
久波  
詩作

ウツ／＼と眠りに就てしまつた。  
「お嬢様、岩崎はもうお眼みて  
すか。」  
「はい。」蓮子は一寸席を起つ  
て、順座に向ひ。  
「岩崎……岩崎……」と、俯り  
起したが、順座はモウ何にも知ら  
ずに無我の闇に遊んで居た。  
「わ、此の通りよ。」云つて蓮  
子が以前の席へ腰を下すぞ。  
「お嬢、目くづつたな。」  
意外！ 青年紳士は此の美人

及び保身場は即ち通信に使用す  
るべく、船を降させて後落しの軍  
械の棄けをなして後落しの軍  
械の棄けの外に死傷兵の處指に働  
き立てたる功を奏するものである  
所謂大才明の呪仙兵也。

鋭敏なる鼻に倣つて  
其の新在を知らしむのであるが  
必等嬌及び犬の教育が法に就て  
は既に千羽の御真場が購

は既に趣味のあるものである我  
は既に千羽の御真場が購



の感傷の片がけして　玉置温子(貞虎)  
思ふに心おひつりぬかな　ゆ我が  
思ふ人かゝるなりたづね  
するまじき愛を仰げば灰なる雲霧  
再びは霧に巻きて別れし君な  
つかしかりにける哉  
**阪上(子)貞純**  
快よ　秋の月　白の葉をば想へ  
と吹く初夏の風  
**藤・敏子(貞城)**  
はるかなる君を思ひて　の夕光鳴  
る脚をさそひかけり  
夕暮れ故ともわかれ途程たり時  
星の狼狽もとり流く  
疎かなる君を偲ぐれば撫撫しこあ  
はれな　事人の恨めくれば  
これへのほかに文の終りにぞ  
あきらむるし君が文脈

毒

安永

毒防

各支店  
及全國  
有名な  
藥店  
に販賣  
仕居候  
陸軍

人蔘工

朝鮮京城鮮村

二四八〇番  
二八七〇番

う 白 お 貴 本 の

梅

東京小石川第六天町五二藥石

特別此會開佈  
照會尤願請  
東

京城久遠

枝肛門病

院

却

教習官は、就ては大いに研究せ  
 らるゝであらう。斯斯の仲効は  
 既に人々によく知る處であるが  
 が毒血に於ても最も苦なるべき  
 はカス、斯斯である。是のカス  
 斯斯無色、毒であつて一度事  
 佈すれば三日間、位は同所に注  
 溢して

**容易に消滅** しないの  
 であらう。無色、臭の爲めに甘  
 の有無を知らず事も出来ず一たび  
 是れ一嘗たならば防衛に飽す  
 の出る所があつて是れを浴び  
 した物は、毒があつてそれを浴び  
 した物は、毒があつてそれを浴び  
 した物は、毒があつてそれを浴び  
 した物は、毒があつてそれを浴び

なるは止む處もなく、毒が湧出  
 した物を、毒があつてそれを浴び  
 した物は、毒があつてそれを浴び  
 した物は、毒があつてそれを浴び

きののは此毒、斯斯であつて戦  
 にも、毒血、斯斯といへば戦  
 場、後方十哩位の處に在る軍隊  
 迄も一際、防衛をすべきである

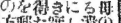
**我等の俳句**

鷗村の夏の月 浮雲 櫻  
 毒血に靡れる主人がきんぐ  
 われ、マートの紅き肉付おろす  
 かに。

立つて、おききの脚をよせける波  
 浪の聲、戦つて敵軍の裾踏ふ光  
 映きかたれたものゝ頭髪、光

斤 郎

[illegible]

<p><b>診察時間</b> 毎日午後六時より九時迄          貧病者も無料          診料無料          電話掛付け可也  <b>香山製薬合資會社</b>          電話九百三十四</p>		<p><b>中風病</b></p> <p>余家は祖父及び父兄の遺傳と同病にて困難したる道徳に説いて傳へり實驗を著したる方にて醫術高明なり          鐵橋附新聞名記氏照官の郵券に謝する          寶書無代進呈す          兵庫明石町 加古忠兵衛</p>
---	---	---

御用 萬二藥 切の師 へ本店 文願上 咲

兄弟商會  
電話 三三〇五  
電話 五三〇五




粉

特製

熊平支店

●貳圓以上拾圓迄

一萬年

■振替名簿二番 ■電話

色々

六四番 ■ 電燈二盞五種

新兵器(三)

谷少佐談

前連の如き交通壕中  
に於ては、敵の侵入を察知  
すれば、即ち手雷を投  
げ、敵の侵入を阻止す  
る。此の如き場合に於  
ては、手雷の投擲は、  
最も重要な任務である。  
手雷の投擲は、敵の  
侵入を阻止するに  
最も有効な手段である。  
手雷の投擲は、敵の  
侵入を阻止するに  
最も有効な手段である。  
手雷の投擲は、敵の  
侵入を阻止するに  
最も有効な手段である。

製糸工場春寒の樹にふれての  
山與水  
夏羽織の裏の巾着の彼まで  
眞  
望めく御水車曳く人夫の勞働の  
一日  
夕ぐれお前の顔かひにく燐けつ  
食卓  
この子が俺になつたか  
金龜城  
山郎  
歸車門口まで直射の日に來て朝  
郎の服に  
草辛の花が尋常草味のある朝  
草の中の茨の邊が散れた  
不考郎  
將運ぶ子母は子母の高聲  
さういふ月で兄弟運刈草を止める  
二五の日の日會々 一〇〇

窓の追憶

日歌歌壇

二五の日の日會々  
水邊(又葉大連)

[illegible]

通券  
花王  
興本位  
お花

し下  
生石生  
鳥め致し

圖  
を

---